

# 山口和男の議会報告



連絡先  
八王子市裏高尾町518  
TEL 666-5801  
FAX 664-1061

日本共産党八王子市議団  
TEL 620-7317  
FAX 626-3398

## 本年も市民の皆さんの願い実現へ 全力をつくしてまいります

新しい年がスタートいたしました。市民の皆さんにとって実り多い年になります。心から願うものです。

すよう本年も全力をつくしてまいります。いつそのお力ぞえをよろしくお願  
いたします。昨年3月11日に東日本大  
震災が発生し、原発事故も重なり、未  
曾有の年になりました。国民上げて被  
災地への救援、復興支援に取りくんでき  
たところです。今年こそ、被災地の皆さ  
八王子市においては一月に市長選挙  
も行われます。今後の市政をだれがに  
なうのか、どんな方向をめざすのか、市  
民の皆さんの選択が問われる年にもな  
ります。本年も「身近で役に立つ」を信  
念に皆さんの願いを市政に届け、その実  
現をめざしてまいります。

# 力を合わせて 大震災・「原発」事故を 乗り越え 希望がもてる新しい年に!



## 5人の市議団のパワーを発揮して

昨年4月の市議会議員選挙で5人全員の当選を実現させていただきました。公約実現の第一歩として八王子市議会に「復興支援・災害対策特別委員会」を設置させ、「原子力発電から撤退し、自然エネルギーへの転換を求める意見書」も日本共産党の提案で全会一致可決されました。11月からは368カ所の公共施設での放射線量測定も実施されました。



石巻市への救援ボランティア（5月21～23日）救援物資に700人もの方が参加

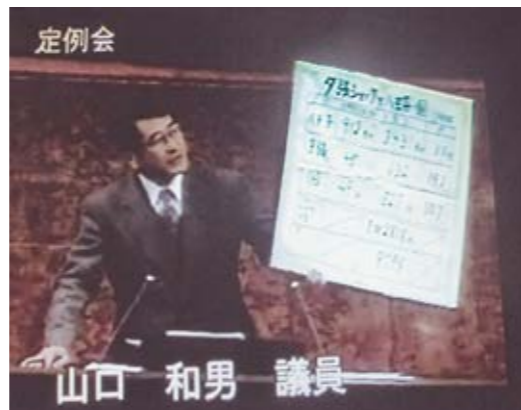
# 第4回定例市議会の審議から

昨年(2023)の11月30日から12月15日までの会期中、第4回定例市議会が開催されました。市長提出議案として、一般会計補正予算案と三つの条例案などが提出され、日本共産党八王子市議団を代表して、私が質問しました。

## 1 一般会計補正予算案を可決

補正予算案は1億4千万円を増額するもの。今年度、日本共産党市議団の要望で実現した住宅リフォーム助成(居住環境整備費)で当初3千万円であったものをさらに1千万円増額補正したこと、今回の補正で見込まれる八王子市の地方債(借金)残高と財政規律について質問を行いました。

この中で、居住環境整備費事業は、10月11日現在、補助件数が254件、補助額が3202万6千円で、これによる総工事費は4億9306万円で、補助金の15.4倍の経済効果を上げていることが明らかとなりました。



## 12年間で893億円の借金を削減 黒須市長“今後もきびしい財政規律が必要”

地方債残高と財政規律については下の図表を示して質問しました。夕張市が平成17年に財政破たんして全国にショックを与えました。国の借金も夕張市に近い状況でしたが、5年後の22年度決算では負債がついに収入の15倍にも達し、夕張市を上回ってしまいました。こうした中で、3期12年間「返す以上に借らない」「10年間市債依存率の平均を歳入の6%以下にする」という方針で、借金を当初の3183億円から2290億円と893億円も減らすことができた市長として、今後の市の財政規律について見解を求めました。黒須市長は「今後もきびしい財政規律が必要」との答弁を行ないました。

夕張ショックと国・八王子の財政

	年度	標準財政規模A	負債(B)	B/A
夕張市	17年度	45億円	632億円	14.1倍
国	17年度	49兆円	529兆円	10.7倍
	22年度	42兆円	636兆円	15.0倍
八王子市	17年度	912億円	3,431億円	3.8倍
	22年度	1,014億円	2,790億円	2.8倍

国の負債は国債の残高。夕張市と八王子市の負債は地方債残高債務負担行為と一時借入金合計、国の標準財政規模の数値は一般会計の税収。

## 2 三つの条例案を可決

黒須市長が勇退を表明し、最後となった議会に「八王子市暴力団排除条例」「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」「八王子市市街化調整区域の保全に向けた適正な土地利用に関する条例」が提出され、いずれも可決されました。

### 市内の暴力団事務所8カ所、暴力団員は205人

暴力団排除条例について、市内の暴力団の実態を質問したところ見出しのような答弁がありました。「障害のある人も～八王子づくり条例」については、障害者団体の皆さんが勉強会やセミナーをくりかえし開催するなど、市民の熱意と努力が実ったものです。私は条例が実りあるものになるよう市の体制を充実させ、予算をしっかりと確保することを求めました。この点について、市からも積極的な答弁が示されましたが、来年度の実施に当たって、それが実現されるよう対応していく必要性を感じました。



## 長房の皆さんと赤旗印刷所を見学・市田書記長も訪問

山口和男の活動日誌から

地域しんぶん「明るい長房」100号発行記念行事として、赤旗しんぶんの印刷所の見学会が行われ、私も参加しました。日頃、私の市議会報告をのせていただいている「明るい長房」ついに100号を達成。この日は中央委員会各セクションも案内していただき、市田書記局長が在室。心よく記念写真もとらせていただきました。



日本共産党市田忠義書記局長の部屋で記念撮影(十一月三日)